

自然の力で創造性と問題解決能力アップ たまには環境を変えてみませんか？

◆◆◆ シリーズ『攻め』と『守り』のバランス経営 ◆◆◆

経営者の皆様と“個性的な経営”を考えるために！

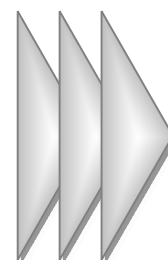
☆☆☆☆☆☆ 《 目 次 》 ☆☆☆☆☆☆

- 【1】自然の効果
- 【2】A社はすでに地元の優良企業
- 【3】働き方が間違っている？
- 【4】きっかけは子供の頃の記憶
- 【5】オフィスでは決して生まれなかった商品



【今月のハイライト】

皆さんは仕事で疲れたときや、思考が停止してしまったときなど、どのようなかたちで「癒し」を求めるでしょうか。あるアンケートによると、この癒しを「自然」に求める人が少なからずいることがわかっています。よく自然に触れると人は幸福度がアップすると言われますが、それだけではないようです。今月は自然が人に及ぼす影響について考えてみます。



【公認会計士・税理士 伊藤 隆】

伊藤会計事務所

【本 部】〒102-0081

東京都千代田区四番町1-8

四番町セントラルシティ602

TEL: 03-3556-3317

e-mail: itoh@cpa-itoh.com

(株) 創コンサルティング

【会計工場】〒510-0071

三重県四日市市西浦2-4-17

(エスタービル3F)

TEL: 059-352-0855

URL: <http://www.cpa-itoh.com>

【1】自然の効果

1》癒しブーム

世間で「癒し」という言葉がよく使われ出したのは、1999年後半からだと言われています。「癒し系」なる言葉も生まれ、癒しブームとして取り沙汰されました。

その背景には、バブルが崩壊したばかりか、アジアの通貨危機も重なり、のちに「失われた20年」と称される不況を経験したことがあると言われています。

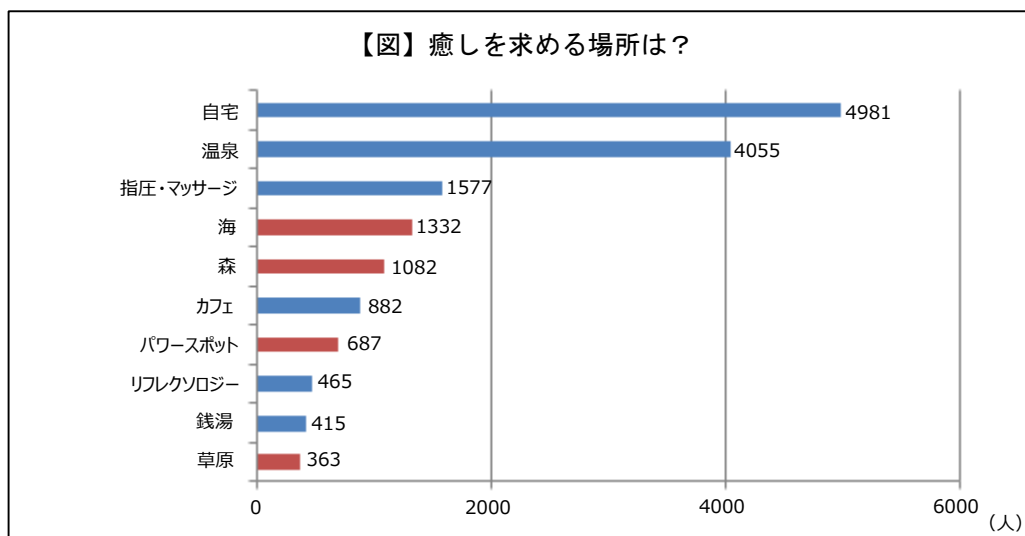
癒しという言葉は、

いまだ私たちの日常から消え去ってはいません。

では一体、私たちはどんな「場所」に癒されるのでしょうか。

2》癒しを求める場所ランキング

下図は「goo ランキング」が行なった「癒しを求める場所ランキング」からの抜粋です。



3》自然の効果

注目したいのは、赤で示したように**自然に癒しを求める人が少なからずいる**ということです。自然に触れると幸福度がアップするというのはよくいわれますが、それだけではないようです。

カンザス大学の研究では、テクノロジーを遮断して自然の中で3日間を過ごすと、創造性と問題解決能力が50%向上するとしています。

今月は自然が人間にもたらす効果をビジネスに取り入れた事例をご紹介します。



【2】A社はすでに地元の優良企業

1》A社の成長

A社は水産加工品の製造・販売を行なっている会社です。創業60年余と古いのですが、市場の一面を借りて、間口が二間（約3.6m）もない店舗で、

わずか2種類の商品を販売したのがA社の始まり

だったといえます。

勤勉な仕事ぶり、扱う食材への真摯さ、品質の高さが認められて、代替わりする頃には、自社工場も建て、直営店をふたつ構えるまでになっていました。

各店舗もスタート時とは比べようもないほど大きくなり、オリジナル商品も増え、社員も多く雇うようになっていたそうです。

2》三代目A社長

そうした状況の中で、将来の三代目経営者の地位を約束されながらA社に入社したのが、二代目社長の長男Aさんでした。役職は専務取締役としてです。

大学を卒業後、他社でビジネスマンとしての基本を学び、そろそろ帰ってこいと父親からの指令を受けて、満を持しての入社だったようです。

その時には**A社はすでに地元の優良企業と認識されていました**。ですから、Aさんは帰郷すると早々に、

地元の青年会議所（JC）への入会

を誘われたのです。

3》JCでの経験

志を同じくする同世代の人たちが多く、中には同級生の顔もちらほら見えます。

事業のこと、地元の発展のこと、彼らと話すことは刺激的

で、ほどなくして**AさんはJCの活動に夢中になっていった**そうです。

専務として入社したからといって、経営者として父親が上に君臨しているため、思うようにはできません。その鬱憤^{うっぷん}を晴らすかのように、Aさんは仲間たちと将来のことを話すのでした。

その後、AさんはJCの役職にも就任し、そんな年月が5年ほど続いた頃、いよいよAさんの社長就任の日がやってきました。



【3】働き方が間違っている？

1》社長に就任

その頃までにはJCの役職の任期も終わり、本業に本腰を入れたいと強く思い始めていましたから、社長就任には打ってつけの時期だったかもしれません。

A社長はこれまで育ててきた思いをすべて仕事にぶつけたそうです。朝は誰より早く出社して、帰るのも最後です。会社を出るのが

午前1時、2時というのも珍しいことではなかった

といいます。

社長自らがこのような働き方をしていれば、やがてそれは社内に伝播^{でんぱ}していくものです。社長より早くは帰れないと考える社員も出てきて、A社の社屋の窓には深夜まで明かりが灯っていたのです。

2》ハードワークの結果

ところが、こんなに頑張ったというのに、A社の業績は下降気味でした。「こんなに頑張っているのになぜ」という思いがさらに拍車をかけて、ハードワークを続けました。

そのことがさらに無理をさせたのか、ある日A社長は体調を崩してしまったそうです。業績を上げるためにハードワークをしてきたというのに、結果がついてこないばかりか、身体までおかしくしてしまったのは、

明らかに働き方が間違っている

ということです。それまでA社長はA社のすべての仕事に口出ししてきましたが、まずそれをやめたそうです。

3》時間の使い方

そして次に、できるだけ定時に帰ることを自分に課しました。これまで深夜まで働いていたのだから、時間が足りなくなりそうなものですが、不思議とそんなことはなかったそうです。

A社長は

経営者としてやらなくてもいい仕事までやっていた

ことを実感したといいます。

このことに気づいて以来、A社長は自分の時間の使い方を強く意識するようになったのです。



【4】きかけは子供の頃の記憶

1》さて、夕食後に何をするか……

早く帰宅するようになったA社長が戸惑ったのは、「さて夕食後の時間をどうするか」ということでした。これまでは会社で仕事をしていましたから、そんなことを考えもしません。

読書もいいけれど、そればかりでは単調です。何か趣味を見つけようかとも思いましたが、無理やりというのは違う気がしました。悩んでいたとき、ふと思い浮かんだのが、

子供の頃に家族で行ったキャンプでの光景

でした。

より記憶に忠実にいうなら、もう寝ようとテントに入るとき、一人ちょっと離れた場所で椅子に身をもたせかけて、夜空を見上げている父親の姿でした。当時、子供心にまだ寝ないのかな？ と思ったことが突然に蘇ったのです。

2》一人テントをもって

やることが決まりました。一人テントをもって夜を過ごすのです。幸いA社長の自宅近くは、キャンプ場が点在する土地です。夏にはたくさんの家族連れで賑わいますが、シーズンオフはひっそりとしたものです。

静かに過ごせそうなこともA社長を惹きつけました。

そんな場所での読書ならまた違った味わい

になりそうです。

週末、早速出掛けて一人過ごした夜は、A社長にいつもとは違った何かを確実に植え付けたのです。

3》キャンプサイトでの過ごし方

それからというもの、A社長はすっかり一人キャンプにハマりました。平日でもテントを張って、朝そのまま出社、仕事を終わるとテントに戻るということも珍しくなくなりました。

そうしてA社長は何をしていたかというところ、本を読んだりもしましたが、社長曰く、

「基本的には何もしていない」

そうです。といっても、ボーっとしていたわけではなく、思考をめぐらせていたのです。いや、めぐらすというより、いつの間にか思考しているというのが正確なA社長の姿でした。



【5】オフィスでは決して生まれなかった商品

1》新たな発見

二日、三日と連泊していくと、身体のリズムが変わっていくのがはっきりと感じられました。朝がこんなにも多くの種類の鳥の鳴き声で溢れていることを知ったのは、この日々でした。

今日か明日かと待っていた月が満ちたときの嬉しさを知ったのも初めてでした。

また、水産加工会社の経営者らしく、海辺にテントを張ることもありました。寄せては返す波の音はA社長を沈思^{ちんし}へと誘います。

このような時間の使い方をするうちに、

A社長に新商品のアイデアが浮かんだ

そうです。

鮭を使った商品だったようですが、これがヒットして売上にだいぶ寄与したといえます。

2》父親の姿

この商品が

オフィスで働きづめであったら決して生まれなかった

ことをA社長は確信しています。

以来、A社長は重要な判断を下すときは、自然の中であるようにしています。その決断は不思議とうまくいくそうです。

となると、効果は共有しないともったいない。経営会議の場を自然の中に移すこともありました。

回を重ねるうちに、**普段は出てこない発想、会議室では言えなかった意見が幹部の口から少しずつ出てくるようになった**のです。

父親がかつて一人座って夜空を眺めていた姿を、A社長は最近になって理解できたような気がしています。

3》環境を変えてみる

ときに物事を考える環境を変えてみるというのは、大事なことだと思います。その際、自然の中に身を置くというのも選択肢の一つです。そんなやり方で五感を研ぎ澄まし、判断力を高めている経営者は少なくないようです。

普段とは違う環境に身を置いて、思考をめぐらせるのも良い方法かもしれません。試してみる価値はありそうです。

